

施策評価シート(令和4年度実施施策)

総合計画 体系	政策No.	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	施策主管課	政策財政課
	施策No.	6-1	施策名	地域活動の推進	施策主管 課長名	國分 利則
関係課	総務課 政策財政課					

1. 施策の目的

対 象	A 地域	意 図	A 地域の盛んなコミュニティや活動が維持されている
	B 町民		B 地域活動に積極的に参加している

2. 成果指標

指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 地域活動の推進に満足している町民の割合 (増加) (現状値: H28-30平均)	%	53.8	58.8	59.5	60.1	60.6	61.1
				51.2	55.3			
②	B 地域活動に参加している町民の割合 (増加) (現状値: H28-30平均)	%	54.0	58.5	58.9	59.2	59.5	59.7
				48	49.4			
③								
④								

3. 指標の分析 (成果が向上した、またはしなかった理由)

①	集落支援員や地域おこし協力隊の地域活動推進の取組により、割合は前年度より4.1ポイント増加した。コロナ禍においても可能な限り地域活動を維持・継続させようとする地道な取組の成果が現れた結果と考える。しかしながら前年度よりは増加したものの、目標値には届いていないため、今後も引き続き地域活動の推進に努めていく。
②	新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより地域活動が再開され、割合は前年度より1.4ポイント増加し、令和元年度から続いていた減少傾向が若干の増加に転じた。参加者の割合は、男性の参加が約6割に対して女性は4割となっている。年齢別で見ると、若者の参加が少なく60歳以上の半分程度となっているため、さらなる向上を図るためには、女性と若者の参加率を高める取組が必要である。
③	
④	

4. 課題に対する取組 (今年度重点的に取り組んだ課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・集落支援員を活用し、集落の現状把握や課題解決のための話し合いを促した。また、自主防災組織や高齢者の集いの場等の立上げなどを支援した。 ・まちづくり団体やNPO法人等の活動促進のための中間支援を行った。 ・地域団体や町民を対象とした視察研修(三島町)やSDGS講座等を開催し、活動の促進を図った。 ・広報紙「もっともっと」の発行やSNSを活用した情報発信を行い、地域活動に役立つ情報の提供を行った ・会津本郷焼の振興に取り組む令和5年度地域おこし協力隊員1名の採用を決定し、受入態勢整備のために採用5カ年計画を作成した。また、協力隊活動拠点の検討を行った。
--

5. 次年度の方向性 (施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題)

<p>地域コミュニティの活動が維持され、町民が積極的に地域活動に参加することを指すため、地域課題の把握と支援活動を継続し、地域の活性化と維持・強化に取り組む。そのため、今後の集落支援員の活動内容や在り方を、生涯学習センターと連携を図りながら検討する。また、集落の大きな課題である農業後継者問題についても地域計画の策定に向けた支援を実施していく。</p> <p>地域おこし協力隊事業は、採用5カ年計画に基づき、課題解決ミッションに向けた募集を行い、地域おこし協力隊の活動の共有化・一体化が図れるよう活動拠点についても継続的に検討する。</p>
--

6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和4年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4682	自治区長事業	23,988	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	16996	地域おこし協力隊事業	11,072	拡充	拡大	①有効性改善	
3	17129	まちづくり活動支援事業	4,068	拡充	拡大	①有効性改善	○